

大好評！

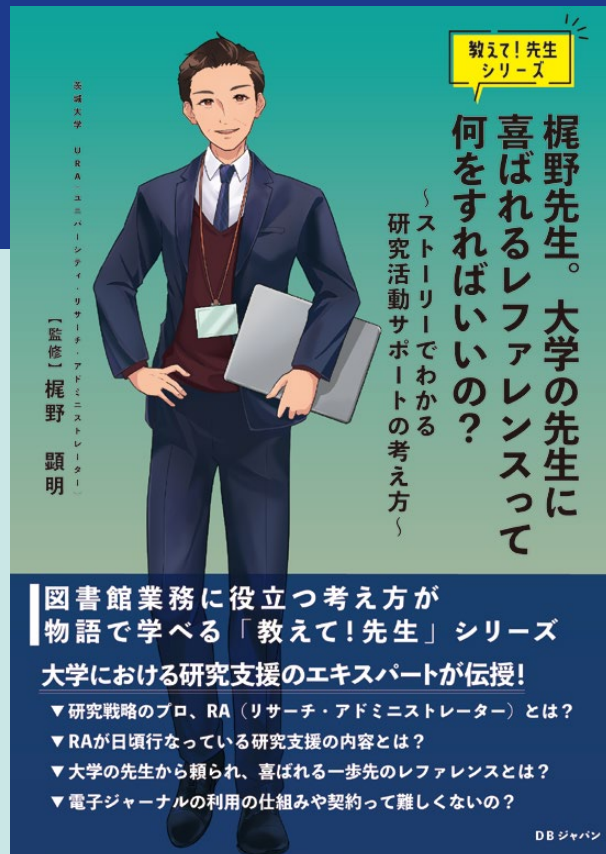
物語で図書館に必要なスキルの考え方が学べる
「教えて！先生」シリーズの第3弾！

梶野先生。大学の先生に 喜ばれるレファレンスって 何をすればいいの？

～ストーリーでわかる
研究活動サポートの考え方～

監修：梶野顕明 編集・発行：DBジャパン

2024年
3月31日
発売！



図書館業務に役立つ考え方が
物語で学べる「教えて！先生」シリーズ
大学における研究支援のエキスパートが伝授！

- ▼ 研究戦略のプロ、RA（リサーチ・アドミニストレーター）とは？
- ▼ RAが日頃行っている研究支援の内容とは？
- ▼ 大学の先生から頼られ、喜ばれる一歩先のレファレンスとは？
- ▼ 電子ジャーナルの利用の仕組みや契約って難しくくないの？

DBジャパン

立新大学図書館で働く司書・鈴木智美(36)が
大学図書館で働く上でのスキルアップを考える中で
茨城大学研究・産学官連携機構URAの梶野先生と出会い、
大学の先生の研究支援に向けたワンランク上の
レファレンスのあり方や考え方を少しずつ学んでいく物語。

※この作品はフィクションです。
梶野顕明先生と茨城大学以外の登場人物、団体、出来事などはすべて架空の名称です。

A5・180 ページ 定価2,200円(本体2,000円+税10%)
ISBN 978-4-86140-465-8

「教えて！先生」シリーズは.....

図書館業務に役立つ「考え方」が、各テーマのエキスパートから、物語を通して学べるシリーズ。

第4弾『蛭田先生。“利用者”のための図書館の地域資料支援ってどんなことができるの？～ストーリーでわかる地域資料サービスの考え方～(仮)』も近日発売予定！

2時間で読めてすっきりわかる

目次

- 第1章 智美、大学の先生に対してできることを考える
- 第2章 智美、司書トレでRAの基礎を知る
- 第3章 智美、ワンランク上の図書館サービスについて学ぶ決意をする
- 第4章 智美、梶野さんから研究支援の基礎を学ぶ
- 第5章 智美、電子ジャーナルの復習とオープンアクセスの予習をする
- 第6章 智美、オープンアクセスや研究データの管理を学ぶ
- エピローグ
- 用語集
- あとがき

RA(リサーチ・アドミニストレーター)の仕事は多岐にわたり、必要スキルや業務範囲も様々です。本書は、RAが配置されている大学の図書館に勤務されている方も、そうでない方にも、最先端の研究に触れ、研究活動の支援に携わるための基本的な考え方が理解できる内容となっています。ぜひ、ご活用していただければ幸いです。
本書「あとがき」より



監修者：梶野顕明

(茨城大学研究・産学官連携機構URA) 国立研究開発法人情報通信研究機構・研究員を経て、2015年3月に茨城大学大学戦略・IR室URA (University Research Administrator) として着任。2018年度より、茨城大学研究・産学官連携機構URAとして主に理工系分野の研究支援を幅広く担当。科研費をはじめ各種競争的研究費の申請支援、組織的な産学官共同研究の推進、研究力分析、その他全学的な研究戦略推進および研究環境整備に係る業務に従事。

もっと学びたい方に..... 司書トレ

梶野先生が本書で紹介するRAの業務内容や
研究支援のあり方を分かりやすく解説した動画

『RA(リサーチ・アドミニストレーション)』

<https://study.shisho.online/contents/001-kk/>



スマホでも見られる動画24分
980円(税込)

取扱書店